

都市再生整備計画(第3回変更)

あしよろちゅうおうちく  
足寄中央地区

ほっかいどうあしよろちょう  
北海道足寄町

平成 28 年 3 月



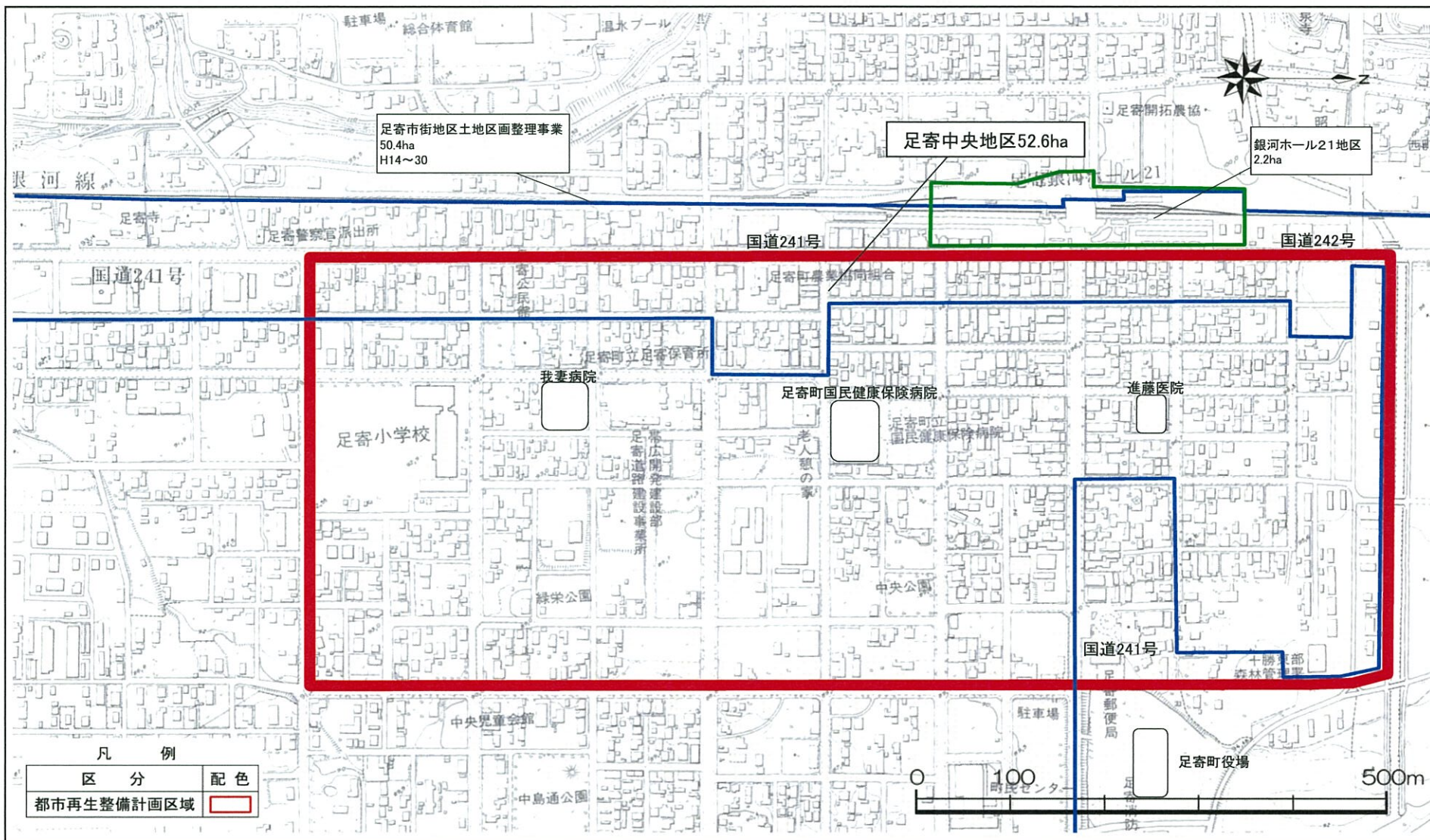
都市再生整備計画の整備方針等

<p>計画区域の整備方針</p> <p><b>整備方針1(歩道整備・交差点バリアフリー化による安全、安心の向上)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狭隘な歩道幅員の解消を図り、快適な歩行空間(動線)を確保し、交差点のバリアフリー化により、安心・安全で利用できる歩道整備を目指す。</li> </ul> <p><b>整備方針2(休憩・ふれあいの場の充実)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街なかに休憩・交流の多目的広場を整備し、地域住民や来町者が気軽に立ち寄りふれあえる快適でコミュニティ性の高い空間の確保を図る。</li> </ul>	<p>方針に合致する主要な事業</p> <p>道路(基幹事業:南2条通・南3丁目通・南2丁目通・北3丁目通・北2丁目通/歩道拡幅)</p> <p>高質空間形成施設(基幹事業:南2丁目通・南1条通/交差点バリアフリー化)</p> <p>地域生活基盤施設(基幹事業:北1条3丁目・北2条4丁目/広場整備)</p>
<p>その他</p> <p>○継続的なまちづくり活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本町では、昭和63年に町民が主体的にまちづくりを担うべく「日本足並み会」が設立され、日本各地との交流や国道歩道部や公園への足型プレート設置等多彩な活動が行われている。</li> <li>・ 平成5年には、駅前周辺の商業空洞化に対応した「商業活性化推進協議会」が設立されたが、平成10年に商業のみならず中心市街地全体のあり方を模索するため「足寄町中心市街地活性化推進協議会」に発展改称し現在に至っている。</li> <li>・ 平成13年には緑のまちづくりを進めるために、国、北海道も参加した「足寄町緑のまちづくり協議会」が設立され、植樹等が行われている。</li> <li>・ 平成17年には、足寄町中心市街地活性化推進協議会に「まち並み景観専門部会」を設置し、国道整備に併せた景観のあり方について積極的な活動が展開されている。</li> <li>・ 平成20年度の「足寄町中心市街地活性化推進協議会」の総会において、商工会中心の役員体制を改め、観光協会、農協、森林組合も参画する体制とし、新たな視点でのまちづくりを目指すこととした。</li> <li>・ 今後も「足寄町中心市街地活性化推進協議会」がまちづくりの中心的役割を担いながら、各種事業の進め方の改善や関連ソフト事業の取り組みを関係住民と調整を図りながら協働のまちづくりを目指す。</li> </ul>	



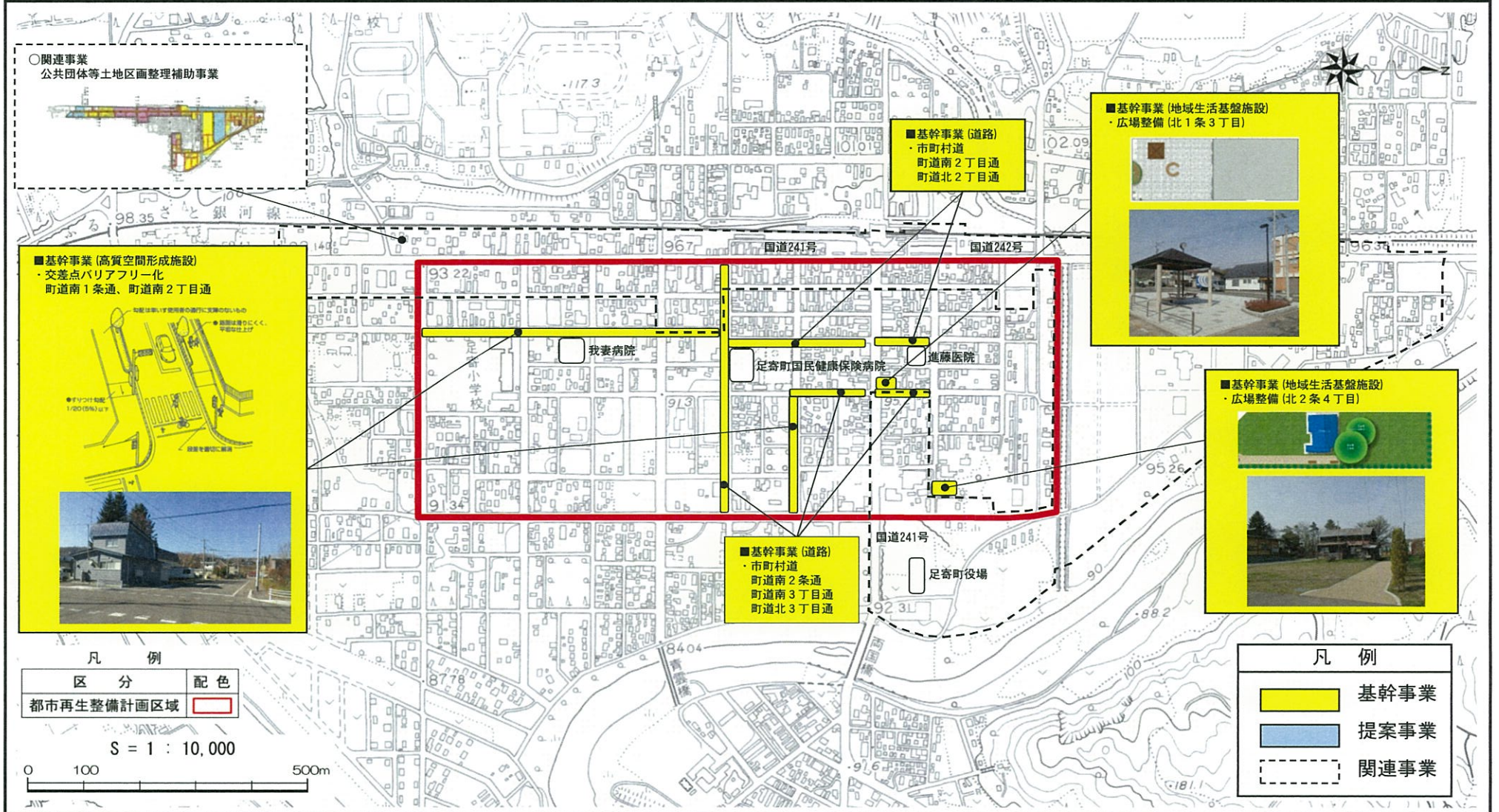
都市再生整備計画の区域

足寄中央地区(北海道足寄町)	面積	52.6 ha	区域	北1~3条1~4の全部又は一部、南1~6条1~4の全部又は一部
----------------	----	---------	----	---------------------------------



# 足寄中央地区(北海道足寄町) 整備方針概要図

目標	緑輝く大地に人のやさしさがあふれるまちの創出	代表的な指標	狭隘歩道率 ふれあいの場の満足度	55% (平成23年度) → 47% (平成27年度)	45.3% (平成23年度) → 60% (平成27年度)
----	------------------------	--------	---------------------	-----------------------------	-------------------------------



# 都市再生整備計画(第3回変更)の添付書類等

## 交付対象事業別概要

あしよろ ちゅうおう ちく ほっかいどう あしよろ ちょう  
足寄中央地区 (北海道足寄町)





交付限度額算定表(その1)

足寄中央地区 (北海道足寄町)

要綱第5に掲げる式による交付限度額(X)	83.2 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	10,449.0 百万円	$X \leq Y$ ゆえ、本計画における交付限度額	83.2 百万円
----------------------	----------	-----------------------	--------------	----------------------------	----------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

**Au** 210,400 m<sup>2</sup>

公共施設の上限整備水準

区域面積 (m <sup>2</sup> )	526,000		
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合	区域の面積が10ha未満の地区	0.50	
	最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45	
	その他の地域	0.40	○

**Cl** 338,200 円/m<sup>2</sup>

単位面積あたりの標準的な用地費

標準地点数	2
公示価格の平均値 (円/m <sup>2</sup> )	21,400

単位面積あたりの標準的な補償費

当該区域内の戸数密度 (戸/m <sup>2</sup> )	0.002
標準補償費 (円/戸)	44,000,000

**Cf** 23,000 円/m<sup>2</sup>

控除額 0 百万円

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(m <sup>2</sup> )	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

**Ap** 152540 m<sup>2</sup>

公共施設の現況整備水準

○ 整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定

推定現況整備水準(小数第2位まで)	0.29
推定公共施設面積 (m <sup>2</sup> )	152540

個別公共施設の積み上げ

	面積 (m <sup>2</sup> )	割合
道路	-	-
公園	-	-
広場	-	-
緑地	-	-
公共施設合計	0	0

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1) 10449 百万円

**ΣCn** 0 円

下水道 0 円

区域面積 (m <sup>2</sup> )	526,000
うち現況の供用済み区域面積 (m <sup>2</sup> )	
標準整備費 (円/m <sup>2</sup> )	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物) 0 円

上限床面積 (m <sup>2</sup> )	9,400
標準整備費 (円/m <sup>2</sup> )	401,400

調整池 0 円

調整池の容積 (m <sup>3</sup> )	
標準整備費 (円/m <sup>3</sup> )	140,000

河川 0 円

河川整備延長 (m)	
標準整備費 (円/m)	3,700,000

住宅施設 0 円

建設予定戸数(戸)	超高層	
	一般	
	合計	0
標準整備費(円/戸)	超高層	
	一般	
北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
特別地区	49,120,000	35,690,000
大都市地区	37,170,000	30,180,000
多摩平野地区	41,510,000	32,370,000
奄美地区	39,520,000	35,640,000
沖縄地区	30,280,000	30,280,000
一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物 0 円

施設建築物の延べ面積 (m <sup>2</sup> )	
標準共同施設整備費 (円/m <sup>2</sup> )	132,000

電線共同溝等 0 円

電線共同溝等延長 (m)	
標準整備費 (円/m)	680,000

人工地盤 0 円

人工地盤の延べ面積 (m <sup>2</sup> )	
標準整備費 (円/m <sup>2</sup> )	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等 0 円

大規模構造物等	協議状況	整備費 (円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2) 10449 百万円

要綱第5に掲げる式による限度額算定

交付対象事業費	基幹事業(A)	208 百万円
	提案事業(B)	0 百万円
	合計	208 百万円

[1]式	$\alpha 1=4(A+B)/5=$	166
[2]式	$\alpha 2=10A/9=$	231
交付限度額(X)		83.2 百万円

- 交付要綱第5 3)式の適用[提案事業2割拡充]
- 平成20年度二次補正予算の執行
- 交付要綱第5 4)式の適用[中活等の45%拡充]
- 4)式の適用の場合、経過措置の適用

# 交付限度額算定表(その2)

足寄中央地区 (北海道足寄町)

## 交付要綱第5に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力)

(百万円)

(百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	208.000	A (事業費)	1)式で求まる額(4/10*(A+B))	83.200	① (国費)
	提案事業合計(B)	0.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/9*A)	115.556	② (国費)
	合計(A+B)	208.000	(事業費)	上記①、②の小さい方	83.200	③ (国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.000		国費率(③÷(A+B))	0.400	④ (国費率)

○拡充の有無

以下の3つの拡充のうち、いずれかの拡充がある場合は、該当する欄に○を記入し、事業費等を入力。

・3)式の適用[提案事業2割拡充]		(選択)	⇒ 3)式で求まる額(5/8*A)	0.000	⑤ (国費)
・平成20年度二次補正予算の執行		(選択)	3)式の適用後(適用がある場合は3式反映)	83.200	⑥ (国費)
・4)式の適用[中活等の45%拡充]		(選択)	3)式適用後の国費率(⑥÷(A+B))	0.400	⑦ (国費率)

○拡充がある場合の事業費等

平成20年度二次補正の執行がある場合及び4)式の適用がある場合は、以下に事業費等を入力。

平成20年度二次補正の執行がある場合	防災対象事業(A')		A' (事業費)	③をA'に置き換えた額(A⇒(A-A')+9/8*A')	83.200	⑧ (国費)
	補正予算の執行額		(国費)	執行額を足した額	83.200	⑨ (国費)
				補正適用後(上記⑧、⑨の小さい方)	83.200	⑩ (国費)
				補正適用後の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑪ (国費率)

4)式の適用を受ける場合	計画の認定等の年度末までの執行事業費(F)		F (事業費)	適用前の国費率(⑩÷(A+B))	0.400	⑫ (国費率)
	適用対象となる交付対象事業費(A''+B'')	0.000	(事業費)	⇒ 適用対象事業費から求まる限度額	0.000	⑬ (国費)
	適用対象となる基幹事業合計(A'')		A'' (事業費)		適用後の国費率(⑬÷(A''+B''))	#DIV/0!
	適用対象となる提案事業合計(B'')		B'' (事業費)	4)式適用後の限度額(⑫×F+⑭×H)	#DIV/0!	⑮ (国費)
	適用対象事業のうち翌年度以降の執行事業費(H)		H (事業費)			

※4)式の適用を受ける場合で、経過措置を適用しない場合(H21以降新規地区)は、Fの欄を記入せず、A''、B''を記入し、A''=A、B''=B、H=A''+B''=A+Bとなる。

↓

拡充も考慮した交付限度額	83.200	⑯ (国費)
--------------	--------	--------

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	208.0	(事業費)	交付要綱第5に基づく交付限度額(⑯を1万円の位を切り捨て)	83.2	⑰ (国費)
			国費率	0.400	⑱ (国費率)

(参考)年次計画

足寄中央地区(北海道足寄町)  
(事業費:百万円)

基幹事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業	細項目								
道路	市町村道	南2条通	足寄町	62	4	0	24	34	
		南3丁目通	足寄町	19	7	12	0	0	
		南2丁目通	足寄町	36	21	15	0	0	
		北3丁目通	足寄町	16	16	0	0	0	
		北2丁目通	足寄町	7	7	0	0	0	
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	広場	北1条3丁目	足寄町	34	34	0	0	0	
		北2条4丁目	足寄町	13	13	0	0	0	
高質空間形成施設	緑化施設等								
	歩行者支援施設	南2丁目通(交差点バリアフリー)	足寄町	11	1	8	2	0	
南1条通(交差点バリアフリー)		足寄町	10	2	4	0	4		
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業									
市街地再開発事業									
住宅街区整備事業									
地区再開発事業									
人にやさしいまちづくり事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型								
	沿道等整備型								
	密集住宅市街地整備型								
	耐震改修促進型								
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									
計				208	105	39	26	38	0
提案事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
地域創造 支援事業									
事業活用 調査									
まちづくり活 動推進事業									
計				0	0	0	0	0	0
合計				208	105	39	26	38	
累計進捗率 (%)					50.5%	69.2%	81.7%	100.0%	

# 道路

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分 注1)	事業 主体	事業 手法 注2)	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	まち交 事業費 百万円	まち交における 事業期間 (年度)	事業内容 注3)	都市計画 決定 年月	備考 注4)
							整備前 m	整備 m							
<道路>				-											
南2条通		地	町	-	一次 改良	453	10.9 10.0	10.9 10.0	2	2.50×2 2.00×2	62	H24～H27	歩道拡幅	無	通行量 41人/日
南3丁目通		地	町	-	一次 改良	131	10.9	10.9	2	2.50×2	19	H24～H25	歩道拡幅	無	通行量 26人/日
南2丁目通		地	町	-	一次 改良	240	11.5	11.5	2	2.50×2	36	H24～H25	歩道拡幅	無	通行量 161人/日
北3丁目通		地	町	-	一次 改良	95	10.9	10.9	2	2.50×2	16	H24～H24	歩道拡幅	無	通行量 11人/日
北2丁目通		地	町	-	一次 改良	95	11.5	11.5	2	2.50×1	7	H24～H24	歩道拡幅	無	通行量 108人/日

(参考)

<関連事業>															

\* 本調書にはア)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、イ)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街：街路、地：地方道(市町村道)、国：国道、主：主要地方道、一：一般都道府県道、市：市町村道、他：いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

(例)・道路改築：交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場：都市計画決定の有無、面積、利用台数等

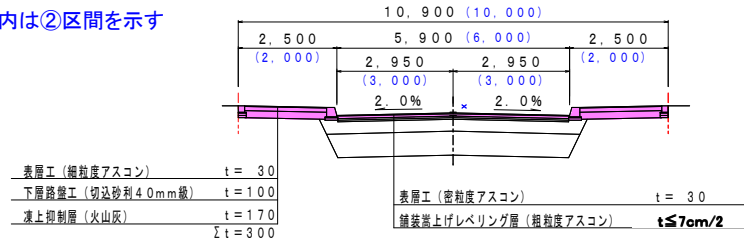
\* 交付対象事業「道路」を「身近なまちづくり支援街路事業」等のいわゆるグレードアップ事業として実施する場合は、それらの計画様式を次頁以降に添付すること。

\* 不足する場合は適宜行を追加すること

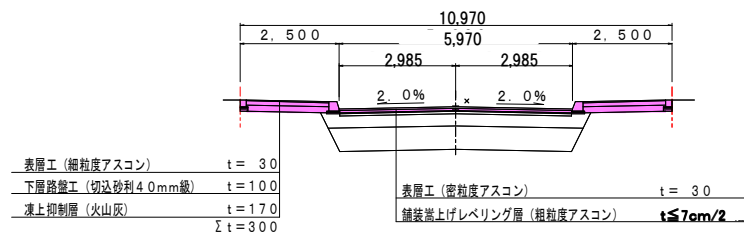
# 道路整備概要図

●南2条通: L=453m、①W=10.9m、②10.0m(歩道2.5m×2)

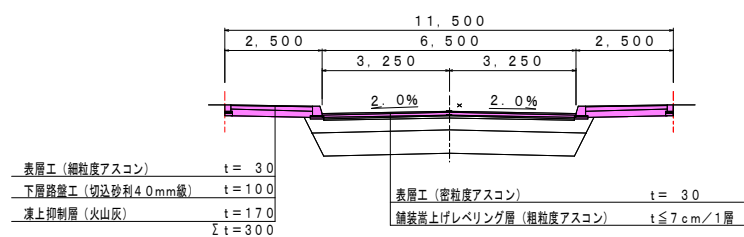
※()内は②区間を示す



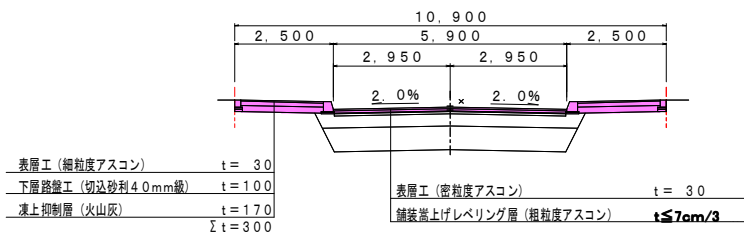
●南3丁目通: L=131m、W=10.9m(歩道2.5m×2)



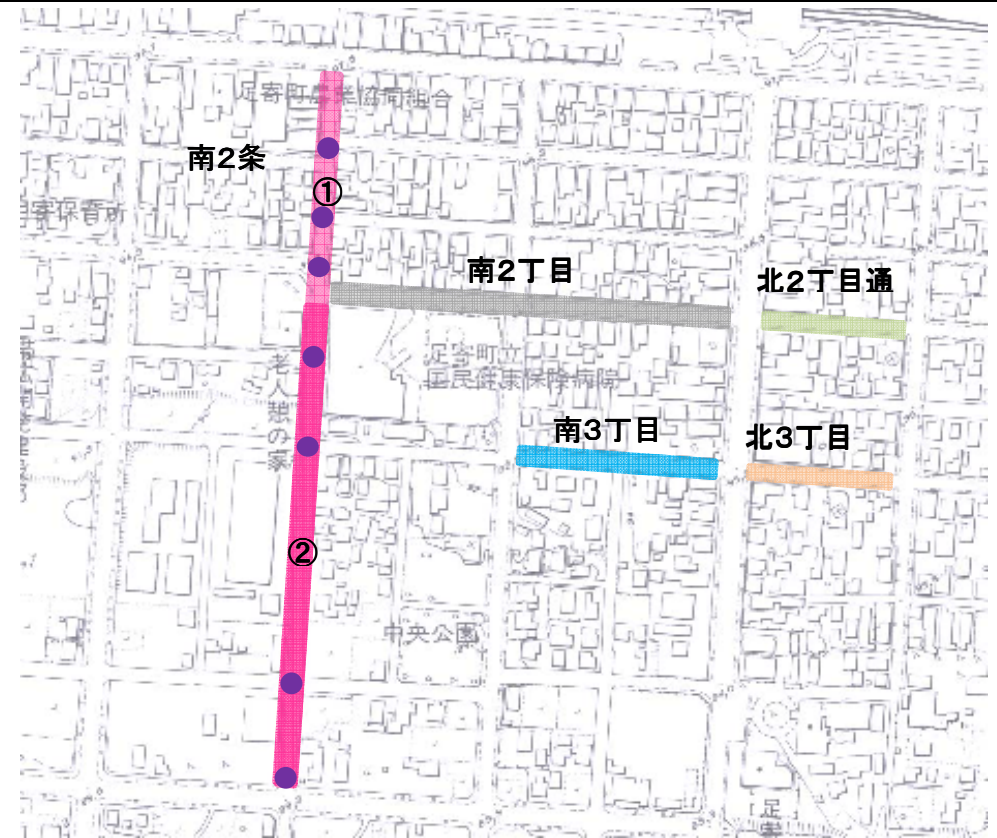
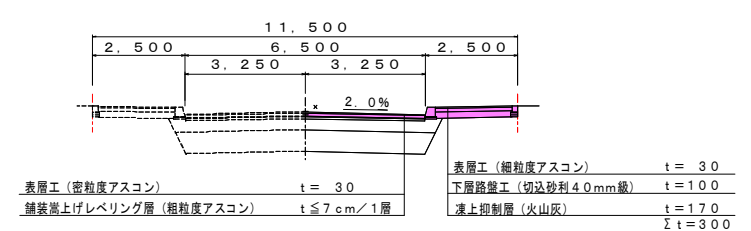
●南2丁目通: L=240m、W=11.5m(歩道2.5m×2)



●北3丁目通: L=95m、W=10.9m(歩道2.5m×2)



●北2丁目通: L=95m、W=11.5m(歩道2.5m×1)



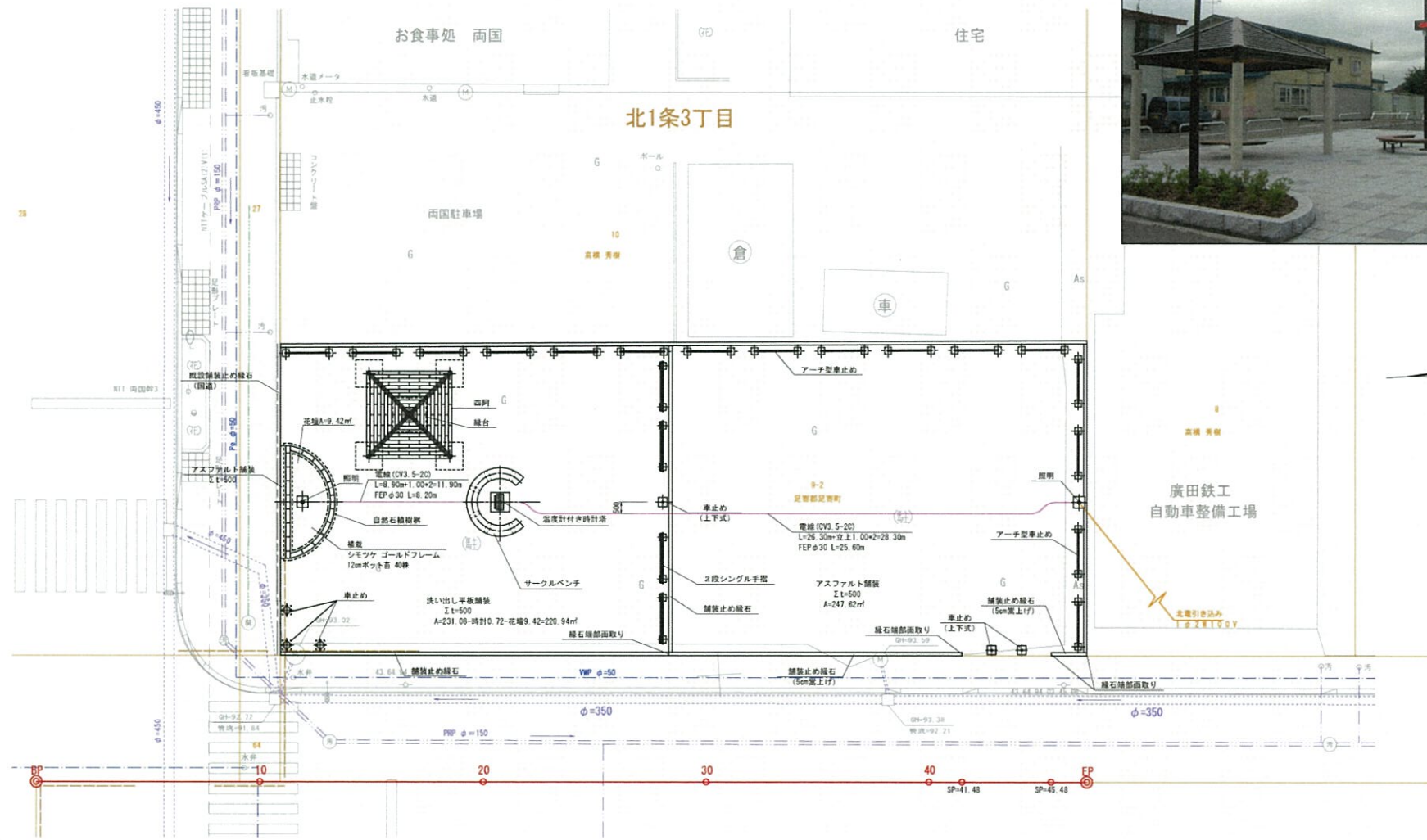
## 地域生活基盤施設

単位:百万円

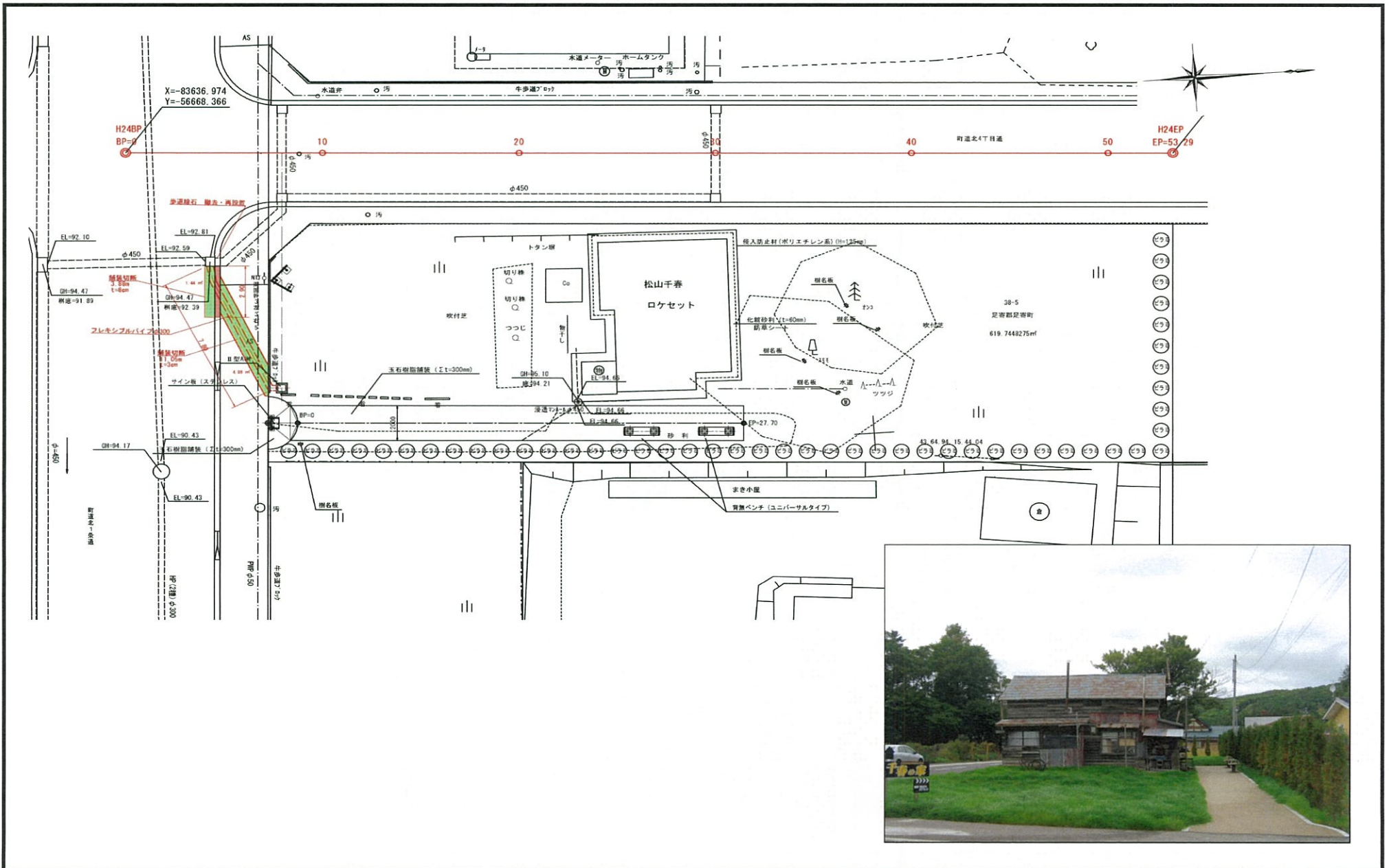
交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地								—	
広場	北1条3丁目	足寄町	493㎡	34	1	13	20	—	
	北2条4丁目	足寄町	620㎡	13	1	7	5	—	
駐車場									
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地								—	
情報板									
地域防災施設									
合計	—	—	—	47	2	20	25		

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。

# 地域生活基盤施設 広場整備概要図 (北1条3丁目)



# 地域生活基盤施設 広場整備概要図 (北2条4丁目)





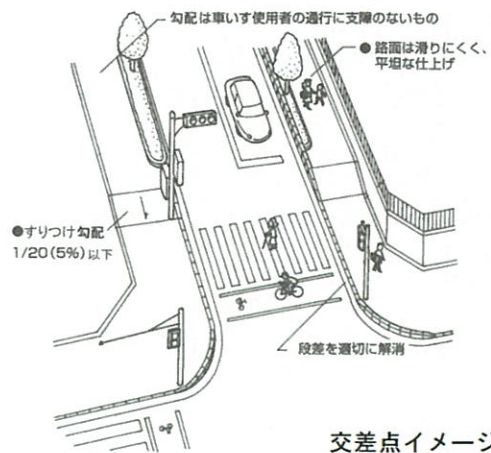
## 高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・ 緑化施設、せせらぎ・ カスケード、カラー舗 装・石畳、照明施設、 ストリートファニ チャー・モニュメント 等)								
電線類地下埋設施 設								
電柱電線類移設								
地域冷暖房施設								
歩行支援施設、障害 者誘導施設等	南2丁目通 (交差点バリアフリー)	足寄町	550m(5箇所)	11	1		10	
	南1条通 (交差点バリアフリー)	足寄町	220m(6箇所)	10	2		8	
合計	—	—	—	21	3		18	

# 高質空間形成施設 歩行者支援施設整備概要図

- 交差点バリアフリー化
  - ・ 南2丁目通 : 550m (5箇所)
  - ・ 南1条通 : 220m (6箇所)



南2丁目通No. 9交差点 (整備後)

